

1. 各団体が実施もしくは実施したいと考えている女性起業家支援の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・商工会の女性部又は部員個人、グループが、企業組合等を立上げ地域課題(特産品の販売、観光開発、食文化の継承等)の解決に取組む計画に対して50万円を上限に助成金を支給する事業。創業計画を募集し、委員会で助成金額を含めた採否を決定。平成14年度から実施し、75件に対し助成。以前は、商工会として中小企業施策「創業塾」を活用し、女性を含め創業支援を行ってきたが、平成22年度に事業が終了した。平成26年度事業として「創業スクール」が予算化されたため、この事業を活用し、女性の起業支援にも取組んでみたいと考えています。 ・女性起業家大賞(スタートアップ部門:創業から5年未満、グロース部門:創業から5年以上10年未満) http://joseikaijcci.or.jp/info/2014/oubo.html ・弁護士会においては女性弁護士の上場企業の社外取締役の就任推進を図るべく、志望者名簿を作成して希望する上場企業に提供する準備を進めています。これも女性起業家支援の取組の一つといえるのではないのでしょうか。 ・マナーやプロトコールについて指導できる人材の育成を目的に、「講師養成講座」を実施。講座の中では、教育研修活動を展開するための会社の設立方法や個人事業主としての手続きの仕方、営業のやり方などについてのレクチャーを行い、また、終了後は大学講座の聴講や継続的な勉強会の開催などで講師スキルの向上をサポートし、講師としての自立を支援。 1. 女性社長.netを通じ、約1500社のコミュニティを女性社長同士の情報交換、情報提供を会員制で実施。 http://www.joseishacho.net 2. 大企業と女性社長のビジネスマッチング 昨年度、内閣府共催事業の仕組みを活用し、女性起業家の企業との取引機会を増やすマッチングイベントを実施。 http://www.gender.go.jp/public/event/2013/renkeievent0122.html 3. 全国各地行脚 ミニJ300と称し、昨年は仙台・東京・名古屋・滋賀・京都・福岡・熊本でも女性社長の会(10-40人規模)を開催。今年も8月以降地方開催を実施予定。2のマッチングイベントに向けて準備イベントとして実施します。 <p>・今後実施したいと考えていることは、起業に興味を持っている会員に本チーム活動の情報等様々な情報提供を行うこと</p>
2. 起業後、最も大きな課題は何か(女性特有の課題はあるか)
<ul style="list-style-type: none"> ・人的なネットワークが偏っていることが多く、営業に弱いこと ・ヒアリングしたところでは、ご自分のアイデアを市場にのせていくために、基礎的な経営の知識、たとえば契約の方法など地味な知識が必要とされるようです。 ・女性は起業直前に無業である割合が高く男性に比べ、資金・人脈面で経営資源が少ない中でのスタートが多い。 ・また子育てや介護などの理由から事業スピードを落とす、休業するケースなどが見受けられる。 ・未だに残る古い慣習 ・家事、子育て、介護の両立 ・信用力の問題 ・金銭問題:女性企業家が銀行などから金を借りるとき、世帯主でないと行って、なかなか貸してくれないという話を聞いた。 ・家族の問題:同じく、夫が主導権を持ちたがるなど、口を出して困るとい話を聞いた。
3. 顕著な女性起業支援事例、本会会で話をきいてみたい事例
<ul style="list-style-type: none"> ・日本政策金融公庫が政府の成長戦略として起業・廃業に低利融資を拡大するとのこと(2014.6.3日経)女性活躍も政府の成長戦略ですので、この二つをドッキングさせて、女性の起業支援にはさらに手厚い低利融資を実現できないか。 ・徳島県勝浦郡上勝町 株式会社いろどり www.irodorio.co.jp ・一般社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会の姫プロジェクト(ひめこらぼ) ・昨年、WEPsでアワードを受賞したコカ・コーラの5by20プロジェクト(2020年までに500万人の女性起業家を育成するプロジェクト) http://www.coca-colacompany.com/stories/5by20 ・西友 http://www.seiyu.co.jp/campaign/woman/ 女性が活躍する企業を対象に、「働き女子応援商品」をカテゴリを問わず幅広く募集する公募プロジェクト。厳選な審査を経て選ばれた商品はオンラインショッピングサイト「SEIYUドットコム」で販売予定。 ・女性の取締役、特に社外取締役として活躍しておられる方の話を伺いたい ・女性には語学に堪能な方が多いので、そうした能力を活かした起業例があれば伺いたいと思います。 ・できれば、30歳未満で自ら起業した若手のお話がよいと思います。 ・「北極しろくま堂」(園田正世社長 URL http://www.babywearing.jp) ・起業家ではありませんが、田村真理子氏(日本ベンチャー学会事務局長)や建入一深(アッシュインターナショナル社長)は女性の起業について種々の事例を持たれていますので、参考になる話が聞けるのではないかと思います。 ・市原慶子氏(有)TJPコーポレーション代表取締役 http://minoshimai.jp/kaisya.html ・垂見和子氏(株)ネイチャー生活倶楽部代表取締役(日本BPW連合会会員) ・志野久美子氏(株)ローズカラー社長 http://nttbj.itp.ne.jp/0758016226/index.html(日本BPW連合会会員) ・杉山史(フミ)氏 旅館すぎ山社長 http://www.gifu-sugiyama.com/ (岐阜商工会議所副会長) http://www.gcci.or.jp/pickup/womens/outline.html(日本BPW連合会会員)
4. 今後の連携の可能性、連携して取り組めること
<ul style="list-style-type: none"> ・女性起業家育成支援のためのプログラムとして、女性起業家の成功&失敗事例をまとめ、ネットなどで紹介するようにはしてみたいか。以前に厚生労働省の委託事業として、女性の起業支援専用サイト「わたしと起業。Com」というのがあったようだが、イメージはこれに近いものだ。実際に女性起業家の事業内容や設立までの経緯、現在の課題などを紹介し、営業PRも兼ねたものにすれば、これから起業しようとする女性にも、すでに起業している女性にも役立つサイトになるように思う。また、成功事例だけでなく、残念ながら失敗してしまったケースも事例として紹介することで、何が事業継続のポイントであるかがわかるようなサイトにはどうだろうか。 ・日弁連の中小起業法律支援センターでは、今後5年間の活動の一つの柱として「創業支援」を取り上げる予定です。また実際に中小起業支援を提案する全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、日本商工会議所の3組織と日弁連が連携して創業支援の重要な柱として女性起業家支援を推進することは、これに他の組織・団体も支援に加わることで実現可能性はかなり高いと考えます。 ・近年の社会的ニーズの動向など、抽象的な知識での支援は私でも可能ですが、研究者なので実務には役立たないことを懸念しております。 ・女性起業家団体同士の連携 女性起業家向けイベントも各地で多数開催されている。 できれば相互紹介を含め情報の一元化ができれば忙しい女性起業家にとって的確な情報がとりやすくなる。 ・ロールモデル紹介、売上だけに着目せず新しい起業家像ジャンル整理。身近なロールモデルづくりと賞の再付与。 各団体の女性起業家受賞者の過去3年受賞の中でその後もっとも活躍している方に対する賞。数少ないロールモデルのその後を追う。 ・若手の女性起業家を高校に派遣し、ロールモデルのひとつとしてキャリア教育に活かす 賞を受賞している女性たちを、キャリア教育の観点含め高校の授業などへ派遣。(是非、全国高等学校長協会さんにご検討いただきたいです) ・女性起業家への発注促進イベントの全国各地小規模開催。 ・当所で実施している女性起業家大賞は今年で13回目を迎え、賞を受賞した方はのべ約100名程度になりますが、なかなかフォローアップができていないのが実情です。 受賞者に対するメリットとして、広く情報交換・交流の場の提供や新しい仕事に結び付く場の提供など何か支援できればと日々考えています。(担当者レベルでの考えですので、その点はお含みおください。) ・中小企業家同友会女性企業家協議会、全国商工会議所女性会連合会、全国商工会連合会と情報交換を希望する ・情報の交換と人的ネットワークにより、女性の起業が進むことを期待している